

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

| | |
|------|---|
| 対象部局 | 国際学部 |
| 大項目 | 6 教育内容・方法・成果 |
| 中項目 | 6.2 教育課程・教育内容 |
| 小項目 | 6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。 |
| 要素 | 必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ(学部) コースワークとリサーチワークのバランス(院) |
| 小項目 | 6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。 |
| 要素 | 学士課程教育に相応しい教育内容の提供(学部) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容(学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供(院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供(専院) |

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

| 2010年度に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | 進捗状況(達成度)評価 | | | | |
|---|--|-------------|------|------|------|------|
| | | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 |
| 1. キリスト教科目4科目を開講する。 | →1. 指標：キリスト教科目4科目の配当年次に応じた開講率 評価基準：95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価C、85%未満…評価D | | A | A | A | A |
| 2. 言語教育科目、外国語科目64科目、留学科目13科目を開講する。 | →2. 指標：言語教育科目(外国語科目64科目、留学科目13科目)の配当年次に応じた開講率 評価基準：95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価C、85%未満…評価D | | A | A | A | A |
| 3. 国際基礎科目、入門的科目4科目、基礎的科目36科目、基礎演習科目4科目を開講する。 | →3. 指標：国際基礎科目(入門的科目4科目、基礎的科目36科目、基礎演習科目4科目)の配当年次に応じた開講率 評価基準：95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価C、85%未満…評価D | | A | A | A | A |
| 4. 国際専門科目、共通科目62科目、北米研究コース科目32科目、アジア研究コース46科目、研究演習科目6科目を開講する。 | →4. 指標：国際専門科目(共通科目62科目、北米研究コース科目32科目、アジア研究コース46科目、研究演習科目6科目)の配当年次に応じた開講率 評価基準：95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価C、85%未満…評価D | | A | A | A | A |
| 5. 領域関連科目14科目を開講する。 | →5. 指標：領域関連科目14科目の配当年次に応じた開講率 評価基準：95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価C、85%未満…評価D | | A | A | A | A |

| | | |
|----------------------|--|--|
| 6. 英語による授業を80科目開講する。 | → 6. 指 標 : 英語による授業 80科目の配当年次に応じた開講率 評価基準 : 95%以上・・・評価A、 90%以上・・・評価B、85%以上・・・評 価C、85%未満・・・評価D | |
|----------------------|--|--|

☆

| 2011年度以降に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 |
|-------------------|-----------|------|------|------|------|------|
| | → | / | / | / | / | / |
| | → | / | / | / | / | / |

《進捗状況(達成度)報告》 **担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。**

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

| | | | |
|-----|---|--|---|
| 目標1 | A | <p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか キリスト教科目は、宗教主事、宣教師を中心として授業を担当し、予定どおり開講した。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か キリスト教科目(4→4科目)の配当年次に応じた開講率 100%であった。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 完成年次後のカリキュラム検討では科目の変更についての議論はなかった。授業内容については授業担当者が適宜対応している。</p> <p>その他</p> | ☆ |
| 目標2 | A | <p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 言語教育科目については、カリキュラム委員会言語教育部会の英語小部会、中国語小部会、朝鮮語小部会、独・仏・スペイン語小部会、日本語小部会により各言語教育について検討を重ね、2014年4月からのカリキュラム変更により科目を充実することができた。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 言語教育科目(外国語科目64→75科目、留学科目13→29科目)の配当年次に応じた開講率 100%超であった。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も、各言語小部会の検討により、改善を図る。</p> <p>その他</p> | ☆ |
| 目標3 | A | <p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 入門的科目については、カリキュラム委員会の入門科目検討部会にて授業内容の検討を行い、科目の統廃合の結果、4科目を3科目とした。その他の基礎的科目については、文化・言語、社会・ガバナンス、経済・経営の各領域にて、完成年次後のカリキュラムの検討を行い、2014年4月からカリキュラム変更により科目を充実することができた。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 国際基礎科目(入門的科目4→3科目、基礎的科目36→43科目、基礎演習科目4→4科目)の配当年次に応じた開講率 100%超であった。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 入門的科目と基礎演習科目については、執行部を中心としてFD研修会等にて、今後の在り方について引き続き検討を行う。基礎的科目については、各領域において科目等の適切性について引き続き検討を行う。</p> <p>その他</p> | ☆ |

| | | | |
|-----|---|---|---|
| 目標4 | A | Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 国際専門科目については、文化・言語、社会・ガバナンス、経済・経営の各領域にて、完成年次後のカリキュラムの検討を行い、2014年4月からカリキュラム変更により科目を充実することができた。 | ☆ |
| | | Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 国際専門科目(共通科目62→103科目、北米研究コース科目32→34科目、アジア研究コース46→56科目、研究演習科目6→6科目)の配当年次に応じた開講率 100%であった。 | ☆ |
| | | Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 国際専門科目については、各領域において科目等の適切性について引き続き検討を行う。 | ☆ |
| | | その他 | ☆ |
| | | | ☆ |
| 目標5 | A | Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 英語の教職課程「教科に関する科目」に該当する領域関連科目は、計画通り開講できている。 | ☆ |
| | | Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 領域関連科目(14→14科目)の配当年次に応じた開講率 100%であった。 | ☆ |
| | | Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 教育職員免許法、教育職員免許法施行規則等の改訂等があった場合は、学部長室委員会にて必要に応じて科目変更を検討する。 | ☆ |
| | | その他 | ☆ |
| | | | ☆ |
| 目標6 | A | Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 英語による授業科目は、人事委員会の検討により任期制教員を採用し、順調に増やすことができた。 | ☆ |
| | | Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 英語による授業(80→124科目)の配当年次に応じた開講率 100%超であった。 | ☆ |
| | | Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 新中長期計画による任期制教員2名を2014年9月に採用予定であり、採用が決まればさらに科目数が増える予定である。 | ☆ |
| | | その他 | ☆ |
| | | | ☆ |
| 備考 | | ☆ | |